

釜ヶ崎医療を考える会活動報告書

いのち



もくじ

- ★ 〈記録〉 12・6 あくとつひいんちゅうしゅうかい
釜ヶ崎労働者をくいのものにする 悪徳病院糾弾集会
大和中央病院・阪和病院・国分病院・栗岡病院・安田病院他 p. 1
- ★ 〈報告〉 人民の医療機関を……(オ3回越冬医療の反省) p. 47
- ★ 〈報告〉 殺られた仲間の調査を！(呼びかけと記録) p. 49
- ★ 資料 (医療ニュース・12・6集会プログラム・新聞他) p. 51

第3号

12.6 聖徳病院糾弾集会の記録

これは昨年十二月六日、後述のとおり
面成市民館で行なわれた集会の様子を三
十分に取つてとらえたものである。

内容

始めに

大和中央病院

陽和病院

国分病院

栗園病院（現、阪急サナトリウム）

淀田病院（現、大和川病院）

泉ヶ丘病院 他

司会 トヲ

始めに

医療者を守る会(中原)

「国会」の、あの、三定より七分以上選出されたけれど、そうそう、金子崎村の着る食口村にする、医療者(神楽集)を始めたいと思ひます。

(拍手)

「中原」 最初は、主催者の医療者を守る会として、同会者はんか決のたんやけいども、まあ、選出したいもの、二人はイスの並ぶの目も、席に坐ったまま自由の発言してすべし。ただ、人が喋る時、途中でやえざつたりはしむに様にとりう事です。

入口の所で、スロガラム踊つて、タリタリのメモを見た、資料なんかも含めて、スロガラムのこの集會をや、こいぐり書つたわけです。

最初、簡単に医療者を守る会が、悪徳病院、

選挙会の始めにかえて、被害者の中にも、毎日も殺られた、こくな。たまた、直接、三の喋る事はなないけれども、その病所の一部も、僕らに今まの編成した事を含めて、話したいと思ひます。

(拍手)

う、と主のせもいらいます。

(2)

先月の二十三日の勤労感謝の日、朝、センター) いろいろ総合センター一階集まる、無名労働者連帯集會、その、僕ら医療者を守る会も、金袋斗の人も一諸、今まの誰にも死に木々えと、こもらえなかつた、そうい、仲間を弄(もよ)つたり、人数は多くながたけれども、非常に意義深い集りであつたわけです。

スロガラムを見下す。二、三。けさ、おと

と、これも、ピン敵(た)んやけいども、今、どくな、人の中から代表列を公したワケです。もっと他にもしつぱにあるし、正確な数はつかめなないけれども、一団に三百名、この数は、前からいわれています。

三、自來、パレス(ド)マンの掃除人が屋を掃除して行った時、泊つていた千葉さんが一千葉さんこのころは、これ、本名で、二人時判、てん談です。本名で二つある仕事で、生活してたから。ま、このころ人は少ないんだけれども、何れにせよ、お救急車呼んで、既に自給えてたところをやつたわけです。死因は重傷死。

二人は、身寄りがあつた、何れにせよ、身寄りがなければ、身が判、でも、死体は入さず解剖用にとりあげて、切りキミまいるわけです。

その二ページの一番下、キヨタキのトヤに書いて、救急車を運ばれて、これは、運ばれてすぐおなかつた、ま、一週間のうち、太田位に、ててくなつた。

後の女今まの調がた判でも、阪和八重野にいたつた

ら、ぜんぜん治療なんかさかずに、ブラック井たに所を放つたら、かしたとれでいた、たまための持ったけいり、移り入たら、たこと見ても、二の阪和病院でなくなつた、こころ入、こころの、も、と、注意して仲間の事を見ていく必要があるんじゃないか、と思ひます。こころのは、二の調査全体をあとで見たんだけれども、阪和病院でなくなつた、こころ入、こころの下、路上で、公園とか、いりゆる裏の見える壁の下、一なくなつた、こころ、それからトヤでなくなつた、こころのは、だいたに三分の一位だ、たんとす。

(3)

こころの事から考えて見ても、病院で、ま、つた、そんな中、も阪和病院が圧倒的に多い、一部は、すぐ近くの中和中央病院もあつたけれども、病院で、たら病気が治る、こころのは、今まの常識や、たかもしらんけど、も、ま、若者通なひかんの、な、りかと思ひます。

それから、七、八の例が三ページに話してあるけれども、こころ入、後、追跡調査したら、まだ身が判、たは、いんです。通称山口又は山内さん、仕事仲間をたんと

大和中央病院(救急病院)

深沢

△司会△ それでは続けたらと思います。

△その受付のヒトミ△ 「いのち」として医療を考へる
会のみならず、たパンフレットあるんやけれど、
二の二君の方にも、大和中央病院——最初に、大和中
央病院の方からその要約の簡単な報告や、してもらっ
たけれど、僕らと、それから、入った一今か
ら報告してもらって、人とか他の人、いっぱいいる仲
向に「讀下」患者新聞、というの發行したんです。そ
のままだしたんが、「いのち」のつてますから、あ
とで見た人はもらって下さい。

△それじゃあ、一人だいたい十分から十五分、長くな
ったら短くして、気がせんと慣ら報告してもらいた
いと思ひます。

△なお、この時、参加者百名位にたつす。

△深沢△ だから、治療も全然無責任な治療をする
いのち、いのちの適当な治療しかしてくれない。た
から、暴力ガードマンを、二、三人雇つて、ま
いりごとをいって、奥に金儲けに徹した警察官
病院であると、大和中央病院は。

△会場、相次いで騒ぐらしい。
おり、ちよっとまで、静かにせんから、團一えんの
じゃ。

△司会△ あのー、報告続けてもらいますから。
△深沢△ 要するに、完全に治療してくれないとい
つ

△のち……
△折竹者同志の言ひ争ひになる。一人の折竹者が二
三人に腕をつかまれ陥へし

△そのや、走り出せ。出る。出る。警察の大じゃる。
完全に治療してくれないといつのは、要するに骨な
んか折つてりとも、適当な言ひ逃れをして、中々診て

最初、大和中央病院から報告してもらいます。

(拍手)

△深沢△ 僕、あのー、大和中央病院に入院して仕事
がありますので、報告したいと思ひます。ちよっとす
りまひん、全うはなしてもらいます。

(すわゆる)

大和中央病院は、救急病院で、金の仲間が多く入院
してします。約三十ちよ。とくらひ。金の仲間たとい
うので、ものすごく力に力を出て、差別思想のもとで
ぬ、入院生活をめぐつての談です。だからまあ、やら
な、いけんわけや、大和な。

△話の途中で、ガイガヤヤの音で、まわりの仲間
から文句が出て、少し混乱す。司会者がたまた、

くれない。ま注釈と兼らひいかにやあ、だからい
つまでも治らなれど、ちよっと複雑な構想下な
ると、ま、いつまでも治らなれど。後は、日教がたて
は治るよ。とひびき逃げるよ。ま、金の仲間たとい
は、だいたいの金がないと、ま、金がないから、そは
適当にやういふわけや。だから、いつまでも、治る
適当でも、全然手続をしてくれないから治らなれど。ま、
どういふ事で、みんな苦しんで、ちんぱりして歩いと
る状態です。そしてまあ、患者がいろいろな事訴えても
医者といふのは、全然やいせまもに相手がしないとい
適当にまあ言ひ逃げてたり、適当にやういふ、日教
たては治るよとか、まあ次に思ひやるよとか、まあ、
なんとかかんとか言ひ逃げて治るよ。ちよっと非道にい
とを言ひ、まあ文句があるなら、他へ行け、文句
があるならすぐ他へ行け、誰もお前に頼んごまで診
よつとは思ひやんと、まあ患者なんといふのは、何ん
か、二言四にはなされた行けと言ひ。

△会場△ 横山やうい、

「深沢」 どうじゃ、どうじゃ。

「そつや。大和中央はそれ救しにけりや。だからみんな回結してやらせや。いけんらけい。」

「要するに、頭なんか打つて、外来下ると、骨折つてな。りかも、とまく、レントゲン、二回も三回もどつてく。川とちま、とむとく言つたら、文句あるなら、お前出てけ。なんと、その日は返り返つた人面もいると。ま、二、三日後には、かろうじて入院を許されと、たけいども。まあそのような治療があるよ。」

「まあ、いい医者とか、ちま、と長に看護婦さんなんこのは、嫌って辞めていくと。まあ、人間的な暖かまなんていうものが全然ない。何か言えば、注射と薬をポンポンくいて、それ、きりだ。何の相談にもうてくれないと。」

「仲介者」 ああ、どうや。

「深沢」 なんだかんだと書つて、不親切な、釜の人間だと二ツの、まあ、それは適当にやらせよけ

「い。あんなのは、ちま、と釜でもないさつたものを食わす。こういふ差別と偏見の中から無責任な治療をするから、必然的に酒を飲むようになった。酒を一杯飲めば、酔つてまじまじとばかりに暴力ガードマンを使つて、空り込んてるのを蹴ったり、引っぱり出すと、引っぱり出すんじや。」

「仲介者 騒ぎ出す」

「ちま、と静かにして聞け。要するに……」

「司令」 ちま、と静かにして下され、
「深沢」 暴力ガードマンが引っぱり出すと、そしてドアの外から荷物を、荷物をポンポン投げ出すと、そしてドアをパタンとしめる。だからまあ、酒に酔たりしとるから、その場を寝ると荷物なんか道まいると。足はあんだ、折れたまま、ギブスはめぐるの、下放り出したままで、あとの治療は知らん。」

「どんな事を訴えても、相談にのらないけい、注射、投薬だけはよくすると。交差事故とは、十日毎に高い治療費をドツておきます。あんだけ金儲けとるんだ

で、幣下二ツの思想があるわけ。差別思想の下つて治療を行な、こまから、必然的に適当下と。まあ、釜の人間には、金もないから。金のない人間は、あ、二は診たといつてのやからぬ。人ツギリと院長は。」

「仲介者」 どうや、

「深沢」 「文句があ、たつ外に出る」といふんじや、

「仲介者、また騒がしくなり、大和中央や医者に対しての報告、最後まで面二ツと口下思ひます。」

「司令」 今、一応報告をやらぬ。あの、一応後か

「それからぬ。それするから……」

「深沢」 要するに、まあ、愚口言つて、どんな事をいふかと言え、裸を来た人間、とか、釜の人間は裸で来た人間、一文も持たないなどとぬかす。人間のクズなどぬかす。差別思想をも、こまから、食事も洗濯目下物を食べる。あんなにうまくなりの食った事はない。冷たいメシと硬いメシで、（おた） 不当、おいしくな

から、構面とか、まあが又が故障してもさうなりと。いつまでも古いの使つてると、シャツなんて、あの上で何人も死んでいふのだ。まあ、汚物がついとるわけじゃな。洗濯してもメシが取れんど。そんなの、まあ使つてると。何もしなれりや、あ、二は。だからもう、あそこまでは患者の不快なものさう多いと。特に釜の仲間には、その差別思想から来る、冷たくさしているから、餅下不満がものさう多いと。だれも患者新聞をみていつのも発行した紙を、大部多くの釜の仲間が全員支持してあげやぬ。それに対して、病院はもう、嫌がらせ、デマね、ユウめは釜の方から来た変化のや、てることか、釜の持んとか、かんとか、まあ、おき出して変化デマを飛ばしてると、病院の人間使つて。」

「面友を申し入れたら院長は、金儲けに……」
「はやらん」と。釜の人間は要するに出る、と公然と言つてきたと。「我々には別なやりと、院長はハッキリと断言しております。」

国分病院(精神病院)

菊池

△司会▽ あのー、最初、予定した病棟はね。大和と
 阪和と兵庫セニターで、栗風病棟ー現在の阪和サナ
 トリウム、安田病棟、現在の大和川病棟の六つだった
 わけです。で六つともできたら、あのー被褥着は、特
 仕着からの音が一番聞きたかった。で、そういふ風
 な予定だったけれども、中々全部はうまくいかなかった
 かったというところで、そのー今の菊池さんとしても
 戻は怒りー病棟に対する怒りーは、それこそ栗
 風病棟に対する怒りとしてはね、阪和が三分、国分は
 七分、っていうようになった、後自身、国分病棟のいい
 目にあつて、で、それ、国分病棟っていう精神病院、
 大阪の府内だけと、柏原市のそれについて、ちよと。
 △菊池▽ 国分病棟にありませんね。まず最初にやね、

二つにうのですね、あのね、よく聞きたかったよ。
 酒飲まされた。酔っぱらって、まあ救急病棟へ行き
 まうしやろ。柏原や、国分病棟のうやつ、イソミター
 ルつやつを射つんですね。よけいになあ。よけい
 ニー、ケツから、カクテリンややつ射つんですね。
 それからねえ、ヒアミーハチャやつ飲んだですね。
 ぼけてしまふんですね。正真正正でも、ぼけてボウッ
 となるんですね。保護室へ入れるんですね。保護室い
 うたらねえ。刑務所のねえ、こんなあなた、あの面皮
 暑あまつしやろ、あの横にある置置場あまつしやろ、
 あんななまやすいとニ、ええとニです。コンクリート
 ですよ。こんなバットもって来て、殴ります。バーラ
 てやつて。コお前しつかりせえ。こんな非道は病棟

るため、国分病棟はね。柏原市国分旭ヶ丘、柏原精神
 病院、そんなことするんですね。ひでえ病院や、あの
 国分旭ヶ丘もええとニです。

る仲間から書いてもらった奴なんか、パンフ出して行
 こうと書いてるけど、それの一本目を出した、この
 「神のとなり」……と、栗風病棟で、非道は目下

と二つのはさすね。大阪市、あのー、中更相へえの
 中更相相談所、今の市立中更相相談所があつたす
 め。向うへあいらり銀行がすし。中更相相談所
 の方はね、金で二万や。とるんですね。その、お客さ
 んをね、天六病棟とね、天六ってのがすめ。そこはさ
 すね、あの、お客さんをピンピン、おいてく出さ。よ
 うししか、マお客さんを一人、金の印や。国分養鶏
 場じかいら人ですね。ようししか、国分病棟が言う
 んですよ、国分養鶏場と書いてるんですね。金の印を
 生か編がある、と患者を、そういふとニなんですよ。

出てくるが、頭、なやましてる、まあ、最近後らと
 節するようになった……
 △Aさん▽ 国分のねえ、あの、昔の安田ねえ、今の
 大和川になつてますねえ、あそこはねえ、中更相の連
 中が、こつこつ入つてますよ。
 △菊池▽ その通りだ。
 △Aさん▽ 中更相ねえ、海外係いつのがねえ、ち
 ゃんとおりましたねえ。
 △菊池▽ それ以外、自分の経歴を喋り出し、テリ

△司会▽ そいじゃー次は、あのー入口の所で、あの
 僕らこいから続けて出して、こんないるんなパンフ
 レット、聞き書きしたり、それからまあ、あのーみん
 なるも書いてもらったやつなんか、実際、現実を知つて

△菊池▽ 中更相ねえ、服部以下、入島、あの田中、
 千葉、あののやじらななあ、あの金の所が着陸し物た
 してるとだ。中更相いっくんは、あいらり銀行の隣だ。
 あんな奴けてまえ、かま入ん、

そして、ある日、ボツと放り出されて、真鍮を坊
主頼にかり出して、そして、今日は今日から三階行つて
作業せよ。作業せよ。作業せよ。作業せよ。作業せよ。
と、いふので、いふので、いふので、いふので、いふので、
終りました。その頃、私は掃除夫を志願しまして、
掃除夫を志願して、便所とか、廊下の掃きをやってま
した。

それ以前にですね、十二月二十三日に、あまりのや
り方で、今、誰かがお、し、た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、
患者と思われぬ、金の師匠を三ツトリとせんが為に、
納税せよ、と、いふことに患者がくやしが、て、既定計画
なしたんです。十七名の患者が、アル中患者が主体と
なつて。

それは不成功に終つたが、みんな、翌日翌朝、
一人二人と叫び出して、電話を呼ぶので、テレ
ビ室へ連れて行かれて、表紙にされて、で、木刀、最
後には木刀も折られて、野球バットとつりて、
そして、一人が犠牲者となつて死にました。

して、ええ、翌年の十月十日が十一日でした。で、検
察庁、ベロソと来たわけなんです。そして、全部、吸
った奴を、殺した奴を引っぱつて、いきました。

しかし、裁判において、その後裁判において、どう
なつたかと言つと、院長は無拘禁であつた。院長その
ものは、拘置所へいかに、他の下つたのは看護人につか
り入ると。そして、裁判を終つた。そして判決は、
それ、判決調べようとしてますが、まだ分かりませ
ん。

（その後の調査で、裁判は終つておらず、院長も起
訴されてることが判明。検事との話し合ひで、松
まさんが証人として出庭する予定）
（その時、それで、そのことで、私はワシヤ〜し
てから、もうこれ以上二二の病室におつてもどうし
うもない、いつような病室になりまして、患者も救え
ないし、自分も救えないし、二人な事して、いつま
ももいたら、自分、十年入れられるや、十五年
入れられるやゆからんぞ、と、いふ気持になつて、ある

それは金子崎からでた男です。森ときひろ。ええ、
東京品川区大島部（高美大島部）の男です。金子崎から行
つた男です。

命仲者、丹人の話か、
（松ま） 丹人と、いし、二、二、から先、うそ言ひん。
（命仲者） 許さへん、二、二、の病室や。
（松ま） 栗田判例、警察行つて聞いて、お前、
一番、警察知つとるぞ。

（笑）
ええ、まあ、そういつ書知りまして、私は後で、
の証拠を捜さんと、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
捕、たんです。そして、これを検察庁へ訴えんとい
かんと思つて、ある本をどうも、ええ、結局
ハッキリ言いますと、その、その、その、その、その、
たんです、田んぼを（稲の隣）。そのへんが、
手紙を投げたんです。私か、手紙を投げて、
、検察庁へて手紙を出して、いふ、いふ、
を出した。そして、検察庁へ届けて、約三月が三月

文字を要んだ訳です。

私は四回に身内が起ります。その、その、その、その、
紙を出さうと、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
禁止しよう。何も、いふ、いふ、いふ、いふ、
とつた。二、二、の、（手）示す。五、五、二、二、
紙は、仕事、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
を、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
の、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
の、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
二月が三月が、出ること、いふ、いふ、
も、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
思つて、それで、いふ、いふ、いふ、
案の定、その男は出た訳なんです。そして、私の
紙が、無事、いふ、いふ、いふ、いふ、
う、この、いふ、いふ、いふ、いふ、
へ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、

はんから、約一ヶ月の休して、所入行つて、ある所
金銭的に相談して、ほりで、ええ、豊前橋へ、私の
奥さんと迎えに来た訳です。キリを出てきました。

夢かと思つたけれど、その「夢かと思つた」
気持ち、今、残つてゐる奴らと手とやりたりと思つ
てゐます。私は。

(拍手)

お前の、私は、今、運動をしてゐます。私は、
その後、マズト持つてますけど、私がその中で苦痛し
たことを、ここに、一篇の手紙(神の降下医師の手紙
日記)に正確を考ふる(会行)として残してあるんで
す。そして、週刊誌に「何かおかしいんだ」週刊
誌にまゐり込んで、全部、あの豊前橋をやって、ついで
「いかんと思つてや」と、たんです。ところが時期が悪
かつたんです。タイミンがずれた。何故かと
いうと、去年から今年にかけて、事件「く〜」大ま
な事件が十も十五もあるんです。だから、相手にして
「二心、おしり」こと、ちよ〜と、あの香藤橋(二

世帯者の時代に出してくれたら、ゆ〜採用するん
やけどなあ」と言つてくつたけど、結局はおあつた
な、たんです。

そして、これを替つて「二心を書いたんが、一月
です」ウロウロ〜して、五月一日のメー
デーの日、三角公園(毎年、金吾輪メデーの会場
となる)で、私は、ピラ(医療ニコース、オニ、精
神病院)から、とらつて投書校の、ていれいを書いたんで
す。そして、ピラの上の、右肩のズミ、この中
村さんの事が書いてあつた(当時の連絡先)。今日、
覚えてゐます。小田アパート、十六番地。あー、十六
番地の小田アパートです。ね、あす(と北東の方、
東入船町を指す)

(ピーピー、ピーピー)苗の音、聞こえる。市民館へ
おひろおひろおひろ(途中)

やかまじりな、このやろつ。

(ピーピー、ピーピー)

十六番地、さつり(医療問題)、あひ(相談)あ

ていつて、だから、あの人があつたんですけど、お一回
は、新聞記事に二十三才と出たので、顔見ると二
十六と七才に見える。

(笑い)
二の人と違つて思つたんです、実は。
それで、えー、私は疑つてあまり話もしなかつた、
この場面も、渡さなかつたんです。それから後で、又
会つた時、始めて中村さんという事がわかつて、二
の場面を出して、実は、こう、こう、こうして、
事情で、こうなつてゐるんじやが、一ぺん、二の本を讀
んでくんなか、と書いて渡した訳なんです。それで、
中村さんと知り合つたんです。

その後において、中村さんは本を讀んでから後です
「あなたがおんなに思うとるんなら、ひとつ、二集
会があるなら、いっぺん行きませんか」と言つてくれ
たんです。それは、あの森の宮の方の会館ですけれど、
中村さんと二人で、その中へ入つた時、二心(指さる

るならば来てくれ、というものがあつたんですけど
から、私は、中村さんを、中村さんを尋ねて行つたん
です。そして、中村さんは、もう、中村さんは、ア
パートが、ちよ〜とや二にして、ゆ〜からなかつたです。
二の新聞屋でたあたら、二の新聞屋が十六番地
です。だから、あの住所に違ひはないと、ウロウロ
したけれども、それから、二回、もう一回ウ
ロウロして、それでもわからな。ある日、新聞を見
ると中村さんの事があつた。ある事、何とかな
つた。バクから出たという事、それで私は、警察
へ行くつて、中村君を何故、どうしてバク、たんだ。
私、言つたんです。本言に、いっぺんして、バク、た。
ん、キリ言ひんか〜して。私は言ひますよ、警察
行つたら、ハッハッ。私は、中村さんです。

「お前には関係ないから、出ていって、くれい」ゆ〜て、
私を道に出したわけなんです。さ、道に出されてからの、
私は、あす二の東田町四十番地ですが、あす二の事
務所に行つて、中村君の会に二心(指さる)

紀南病院(精神病院)

永勢

〈永勢〉 さんど。あのー、こころで、さ、きから、後のため、手挙げて、発言したい、って言ってきた人がいた。あのー、希望者は、ちよ、と手、あけて下さい。はい。

〈永勢〉 あのー、どうも、みなさん、ごくろうさん。あの、現在、七時二十分でございます。五分間だけ、私に時間を下さい。

〈永勢〉 おっちゃん。もっと大きな声出さね、聞こえへん。

〈永勢〉 えー、私、あの、この間、和歌山の気遣い病院に入られました。頭ごりしました。アニコだからって。

〈永勢〉 和歌山のこころ。

〈永勢〉 和歌山の、あの、紀南病院へ入らされました。

〈永勢〉 ケアオキ(最悪)や、そおほ。

〈永勢〉 アニコ(日曜分付者)だからトリミングだけ。住所不定。アニコ。……

とにかく、アニコにいたって、あらゆる差別を受け、浪速区では、いろいろな差別対策とか、いろいろな事をやっておりますけど、我々アニコの組織は非常に弱い。弱いからこゝろ、我々はいつも不当な扱いを受けてます。この不当な扱いをばらばらすのは、一人一人が手を握って、みんがで団結して、黒田君(大阪府知事)と二人行ってー黒田君は私の先輩ですけど、大島君(大阪市長)も私の先輩ですけど、私も、昔は日本

共産党の下で、斗ってきた戦士前からの、革命運動の人間ですけれど……

(拍手)

今は落ち込んで、二人の事をやっつてありますけど、私を愛する仲の仲間とやら、やはりー革命のころ目まで、仲く、真面目な仲間が、一日でも楽しく、平和な家族を取らなすまで、楽しい社会をとるまで、断固として西成からーあの西尾末広さんと昔は、あの、西尾末広さん、昔は西尾末広さん、昔の社会史のみなさん。

(激しいヤジ)

みなさん、命を賭けて、諸君と共に闘いました。

私、つりこの間、和歌山の気遣い病院行って、つくづく、リカバセの中がー田中角栄君は私と同じ年、中曾根康弘君も、佐藤君も、昔はみな流棒した、刑務所行った。刑務所、知ってますか。昭和戦時事件、造船事件、知ってますか。

諸君、自民党の代議員は、総理大臣から、刑務所行ってきたんですよ。ハッカリ。

そういう世の中、我々が困窮しないで、黒田君はどうして手当(年末一時金)くりますか。我々は、スクラム組んで、インターナショナル、高く歌って、赤旗の歌を歌って、大阪府へ行かなければ、断固として(和をたたく)、私らは、今年の越冬資金を五月内もらいたい。五月内、五月内もらいますように。終わります。

(ヤジが入る)

「精神衛生法によって西成保健所が府下の精神病院に収容したアル中患者」
S39年度……124人(ほとんどが釜の者)
44年度……364人。45年度……472人
46年度(ただし7月まで)……180人。

「西成警察署で『泥酔保護』される者」
S45年……2653人(うち175人が西成保健所を通じて精神病院収容)
S46年(6月まで)……1795人

〈資料〉朝日新聞46・7・31朝刊22面「アル中患者が激増ーあいりん地区(記事)」